

競技注意事項

1 本大会は2026年度日本陸上競技連盟競技規則および本大会要項・競技注意事項によって実施します。

2 アスリートビブスについて

- (1) 本年度の登録番号をユニフォームの胸、背に確実につけてください。
跳躍種目は、背または胸につけるだけでも構いません。
- (2) トラック競技の種目に出場する競技者には、写真判定用の腰ナンバー標識を配付します。ランニングパンツの右横やや後方に、そのままの大きさを明確に数字が読めるようにつけてください。
- (3) 腰ナンバー標識はフィニッシュ後、直ちに係（フィニッシュ前方スタンド側）に返却してください。

3 ウォーミングアップについて

- ・ウォーミングアップ場は、多目的広場（人工芝）が使用できます。ただしスパイクシューズを使用することはできません。
最終種目の招集開始時刻まで使用できます。
- ・競技場内と多目的広場以外でのウォーミングアップは禁止です。
- ・大会準備のため、最初のトラック競技開始15分前に一旦すべての練習を中止してください。
- ・競技準備中や競技実施中も準備や競技進行に支障がない範囲で競技場のコース使用を認めます。競技役員の指示に従って安全に配慮して行ってください。
- ・競技場では、持込の牽引用チューブやミニハードル等の使用は禁止します。
- ・使用した競技用の器具（スターティングブロック、ハードル等）は練習終了後、元の位置に戻してください。
- ・競技開始の15分前までハードル練習をすることができます。
練習の各ハードルの置き方は以下の通りとする。
6レーン中学女子100mH、7レーン高校女子100mH
8レーン中学男子110mH、9レーン高校男子110mH
- ・フィールド種目は競技開始前に各ピットで競技役員の指示に従って練習を実施してください。

4 招集について

- (1) 招集所はゴール付近倉庫内に招集所に設けます。すべての種目の招集をこの場所で行います。
- (2) 招集の受付は本人が行ってください。時間に遅れたものは棄権とみなして出場を認めません。
- (3) 招集開始時刻及び招集完了時刻は、当該競技開始時刻を基準として、次のとおりとします。

	種 目	招集開始	招集完了
トラック競技	すべての種目	40分前	20分前
フィールド競技	すべての種目	60分前	40分前

- (4) 他の種目に出場しているなど特別の事由がある場合、招集開始時刻前の招集を認めますので競技者係主任（招集所）に事前に申し出てください。
- (5) リレーのオーダー用紙提出の締め切り時刻は、すべての組が、最初の招集グループの招集完了時間1時間前とします。オーダー用紙は招集所に準備します。

5 競技場への入退場について

- (1) 入退場は、第2コーナー付近のゲートのみとします。競技役員の指示に従ってください。

6 レーン順・試技順について

- (1) トラック競技のレーン順およびフィールド競技の試技順は、プログラムの数字で示します。

- (2) 欠場者のレーンは50m～400mの距離の種目では空けます。その他の種目については競技役員の指示に従ってください。

7 表彰について

- (1) 各種目優勝者と2位にはメダルと賞状を授与します。3位の入場者には賞状を授与します。表彰式は行いません。
- (2) 賞状とメダルは競技場スタンド正面出入口でお渡しします。賞状の準備に記録発表後30～60分程度の時間がかかります。ご了承ください。

8 競技について

- (1) **トラック競技** すべての種目をタイムレースとします。

- ①この大会のスタートは競技規則TR16によって実施します。（小学生の部は友の会ルール）
- ②すべて写真判定装置を使用します。
- ③コンディションにより、直線種目については逆走で実施する場合があります。該当種目の競技開始の約2時間前をめどに関係役員が協議をして、実施の有無を決定します。
- ④短距離競走では、競技者の安全のため、フィニッシュライン通過後も割り当てられた曲走路のレーン（逆走の場合は割り当てられた直走路）を走ってください。
- ⑤番組編成は申込記録上位から1組、下位を2組以降とすることを原則とします。
- ⑥同タイムの着差は、1000分の1秒差までで判定します。
- ⑦リレーのユニフォームについては、ユニフォームの形状を統一する必要はありません。ただし、デザイン・配色（マーク）は統一しなければいけません。

〔TR5. 1〕国内

全国的な競技会でのリレー競走においてはチームの出場者は同一のユニフォームを着用する。

- (2) **フィールド競技** 長さを競う種目はすべて3回試技とします。

- ①フィールド競技における競技場内での練習は、すべて競技役員の指示に従ってください。
- ②投てき競技の計測は、光波測定器を使用します。（状況により変更することもあります）
- ③助走路に使用できるマーカーは主催者が用意したマーカーを2個まで置くことができます。また、サークルから行う投てき競技は、マーカーを1個だけ使用できます。

- (3) 競技者は、勝手に競技場所を離れることや競技規則TR6. 3. 2で禁止されたビデオ装置・ラジオ・CDプレイヤー、トランシーバーや携帯電話もしくはそれらに類似した機器を競技区域内で所持または使用することができません。

- (4) 不当な行為をした競技者には警告が与えられ、場合によっては当該競技から除外されます。警告は黄黒色（斜め半分形）のカード、除外は赤黒色（斜め半分形）のカードを示すことによって競技者に知らされます。

9 走高跳のバーの上げ方

（ただし、天候等の状況などにより変更する場合があります。）

	練習1	練習2	1	2	3	4	5	
高校男子	1m55	1m75	1m60	1m65	1m70	1m75	1m80	1m90まで 5cm、以後3cm
中学男子	1m45	1m65	1m50	1m55	1m60	1m65	1m70	以後3cm
高校女子	1m35	1m55	1m40	1m45	1m50	1m55	1m60	以後3cm
中学女子	1m25	1m45	1m30	1m35	1m40	1m45	1m50	以後3cm

※練習はいずれかの希望する高さで行います。

※第1位決定の場合のバーの上げ下げは、走高跳は2cmとします。

※小学生の最初の高さとその後の高さは小学生担当者が決定します。

10 競技用器具について

競技に使用する器具は主催者が用意したものを使用しなければなりません。ただし、やりについて

は、2つまで持ち込みを認めますので、希望者は各競技の招集開始時刻の1時間前から招集開始時刻までの間に南側器具庫（フィニッシュライン付近）でやりの検査を受けてください。検査に合格したやりは、預かり証を発行の上、一括借り上げし、参加競技者間で共有できるものとします。

11 競技用靴について（TR5参照）

スパイクの長さは9mm以内とします。ただし、走高跳・やり投は12mm以内とします。スパイクは先端近くで、少なくとも長さの半分は4mm四方の定規に適合するように作られていなければなりません。なお、スパイクの数は11本以内です。

規定に合致しない靴は使用出来ませんのでご注意ください。使用した場合は失格となります。

※競技規則TR5シューズに関するルールによって、靴底の厚さが20mmを超えるシューズは使用不可です。

※靴底の厚さが適正であるかわからない場合は、必ず招集所で申請し、靴底の厚さを計測してください。

12 小学生の競技について

(1) スタートのルールは、「小学生友の会」ルールで行います。（各選手1回までフライングが認められます。）

(2) 各種目とも招集時間を守ってください。リレーについては4人そろって招集所に来てください。

(3) 競技種目についての規定は以下の通りです。〔各種目とも男女別、学年別で順位をつけます。〕

①50m（4年生）②100m（5・6年生）③1000m（4・5・6年生）④4×100mR（4・5・6年生）

⑤走高跳（4・5・6年生）背面跳び禁止。最初の高さとその後の高さは小学生担当が決めます。

⑥走幅跳 一般と同じルール

13 スポーレ春日井の使用について

(1) 今回の開門時刻は、午前7時30分とします。それ以前には立ち入らないでください。

場所取りは行わないでください。

(2) 清掃・ゴミ処理は、各学校、各自で責任を持って行い、環境美化に努めてください。

ゴミ問題は深刻な状況です。各自「ゴミの持ち帰り」をお願いします。現在、競技会終了後の「清掃・ゴミ処理」は、一部の学校の部員の奉仕活動により行われていますが、その労力は多大なものとなっています。他人に迷惑をかけないよう互いに気を配り、自宅への持ち帰りにご協力ください。

14 一般的注意事項

(1) 本大会はコンピュータを活用して競技会運営を行いますので、氏名・所属等の間違いがあれば本部に申し出てください。

(2) 更衣室は更衣のみに使用し、荷物は置かないようにしてください。更衣後の荷物は各自で管理してください。

(3) 貴重品類は、各自で保管してください。万一の事故があっても、責任は負いません。盗難には十分に注意してください。

(4) 応急処置を必要とする事故が生じたときは、医務室において処置が受けられます。なお、応急処置後の治療は、本人負担とします。

* 本競技会の結果は、記録速報のほかリザルトが公表されます。結果には、順位・記録のほか選手の氏名・所属・学年を含みます。

愛知陸協強化委員会医事部会が、競技者のコンディショニングと応急処置に当たっています。けがの治療だけでなく相談業務も受け付けていますので、積極的に医務室をご利用ください。なお、テーピング用のテープは利用者が持参してください。

◆競技者の人権保護の観点から、写真・ビデオ撮影について以下の点にご協力ください◆

※ 保護者および本人の了承がない撮影を禁止します。

※ 撮影禁止エリアは下記のとおりです。

◎ 各種目のスタート後方

◎ 走高跳、走幅跳の助走後方と着地前方

◎ 走高跳マットに向かった正面（クリアランス動作中）

※ 選手がスターティングブロックの足合わせを行っている間や試技を待っている間、身体を動かしている間など競技の準備を行っているときの撮影を禁止します。

※ 他者に著しく迷惑をかける行為と主催者が判断した場合は、速やかに警察及び関係機関に連絡します。